

ApresiaLightGM シリーズ

Ver. 1.13.00

リリースノート

APRESIA Systems 株式会社

制定・改訂履歴表

No.	年 月 日	内 容
-	2020年 1月 28日	新規制定
A	2020年 3月 23日	APLGM-11300-RC008 の記載を修正

はじめに

ApresiaLightGM シリーズ 1.13.00 のファームウェアについて説明するものです。本ファームウェアに関する重要な情報が記載されていますので必ずお読みください。

リリースバージョン

今回リリースバージョン	1.13.00
前回リリースバージョン	1.12.01

適応機種一覧

シリーズ名称	製品名称
ApresiaLightGM シリーズ	ApresiaLightGM124GT-SS
	ApresiaLightGM118GT-SS
	ApresiaLightGM110GT-SS
	ApresiaLightGM124GT-PoE, ApresiaLightGM124GT-PoE2(*)
	ApresiaLightGM118GT-PoE, ApresiaLightGM118GT-PoE2(*)
	ApresiaLightGM110GT-PoE, ApresiaLightGM110GT-PoE2(*)

(*)2020年5月販売開始予定

対応バージョン一覧表

各製品の対応バージョンを以下に示します。対象となる製品には、対応バージョン以外のファームウェアをダウンロードしないでください。

製品名称	対応バージョン
ApresiaLightGM124GT-SS ApresiaLightGM118GT-SS ApresiaLightGM110GT-SS	ApresiaLightGM Ver. 1.00.01 ~
ApresiaLightGM124GT-PoE ApresiaLightGM110GT-PoE	ApresiaLightGM Ver. 1.04.00 ~
ApresiaLightGM118GT-PoE	ApresiaLightGM Ver. 1.10.00 ~
ApresiaLightGM124GT-PoE2(*) ApresiaLightGM118GT-PoE2(*) ApresiaLightGM110GT-PoE2(*)	ApresiaLightGM Ver. 1.13.00 ~

(*)2020年5月販売開始予定

輸出する際のご注意

本製品や本資料を輸出または再輸出する際には、日本国ならびに輸出先に適用される法令、規制に従い必要な手続きをお取りください。

ご不明な点がありましたら、販売店または当社の営業担当にお問い合わせください。

商標一覧

Apresia は、APRESIA Systems 株式会社の登録商標です。

その他ブランド名は、各所有者の商標もしくは登録商標です。

APLGM Ver.1.13.00 リリース情報(2020年1月)

機能追加・修正について

このバージョンでは、以下の機能を追加・修正しております。

機能サポート

サポート内容の詳細は、関連する「CLI マニュアル」、「SW マニュアル」、「ログ・トラップ一覧」、「MIB 項目の実装仕様」を参照ください。

APLGM-11300-RC001

内容 対応機種を追加しました。
詳細は、適用機種一覧をご確認ください。

関連 -

仕様変更

APLGM-11300-RC002

内容 WEB ユーザーインターフェース機能において、一部のダイナミックな情報を表示する画面の構成を変更しました。

関連 -

修正

APLGM-11300-RC003

現象 WEB ユーザーインターフェース機能において、ファームウェアのダウンロード処理を複数同時に受け付けて、再起動を引き起こす問題を修正しました。

関連 -

APLGM-11300-RC004

現象 非コンボポートで2ポート以上がリンクアップし、コンボポートで1ポート以上が10M/Full 固定でリンクアップさせた状態で、トラフィックを流し続けたまま装置の再起動を実施すると、起動後にコンボポートが使用できない状態になることがある問題を修正しました。

本問題は、現在 APLGM Ver 1.10.00 でのみ確認されています。

関連 -

APLGM-11300-RC005

現象 PoE 対応機種で、APLGM Ver 1.10.00 以前からファームウェアをアップグレードした場合に、まれに一部のモジュールの更新に失敗して PoE 機能が使用できなくなる問題を修正しました。

関連 -

APLGM-11300-RC006

現象 disable clipaging コマンドで自動ページ送り機能を有効にした場合に、traceroute コマンドを実行すると自動ページ送り機能が無効になる問題を修正しました。

関連 -

APLGM-11300-RC007

現象 SFP 自動認識機能を有効にした場合に、コンボポートの物理ポート設定（リンク速度など）が反映されない問題を修正しました。この問題では、例えばポートのリンク速度を 100M/Full 固定に設定して対向機器と接続している場合、デュプレックス不一致により通信が不安定になります。

本事象は、APLGM Ver1.12.00 及び Ver 1.12.01 で発生します。

関連 -

APLGM-11300-RC008

現象 SFP 自動認識機能を有効にした場合に、瞬停などの短時間でのハードウェア再起動が発生すると、まれに起動後にコンボポート (UTP ポート/光ポート) がリンクアップしない問題を修正しました。

本事象は、APLGM Ver1.12.00 および Ver 1.12.01 で発生します。

関連 -

APLGM-11300-RC009

現象 SSH 機能において、Server Hello パケットで一部の対応していない鍵交換アルゴリズムや公開鍵暗号方式をサポート通知している問題を修正しました。

関連 -

既知の問題について

このバージョンでは、以下の既知の問題があります。

既知問題

APLGM-11300-ER001

現象 ApresiaLightGM シリーズの 24 ポート製品のコンボポートにおいて、ポート 23,24 の UTP ポートがリンクアップしている状態ではポート 21,22 の光ポートが使用できない問題があります。

本事象は、APLGM Ver 1.12.00 以降でのみ確認されています。

回避策 コンボポートで光ポートと UTP ポートを併用する場合、ポート 23 と 24 を同時に UTP ポートとして使用しないでください。

APLGM-11300-ER002

現象 Web ブラウザからの装置への HTTPS アクセスが多発する環境で、長期的な運用により Web 認証を含む装置への Web アクセス(HTTP/HTTPS)が一切できなくなる事象を確認しています。この事象を引き起こす通信として、未認証端末からの Web 認証リダイレクト前の HTTPS アクセスが挙げられます。

回避策 本事象の回避策はありません。事象が発生した場合は、装置の再起動で一時的に復旧しますが、再起動後も引き続き運用していると再発する可能性があります。

注意事項

APLGM-11100-NT001

内容 ApresiaLightGM110GT-PoE、ApresiaLightGM118GT-PoE、及び ApresiaLightGM124GT-PoE のファームウェア変更において、Ver.1.10.00 以前から Ver.1.11.00 以降に変更後の初回起動時、PoE Controller 更新のため起動時間が通常より『約 10 分』ほど長くなります。

起動が完了するまで装置電源を切らないで下さい。

[起動画面例]

Boot Procedure V1.00.01

Power On Self Test 100 %
MAC Address : 00-40-66-58-B5-2C
Please Wait, Loading V1.11.00 Runtime Image 100 %

ここから、PoE Controller アップデートの開始

¥

Clear firmware for poe controller..... OK
Reboot POE chip..... OK
Wait POE chip enter BOOTROM mode..... OK
Update firmware for poe controller..... OK
Save firmware for poe controller..... OK

ここまで、PoE Controller アップデートの終了

以下表示で、装置起動の完了

Press any key to login...

関連 -

ApresiaLightGM シリーズ Ver.1.13.00 リリースノート

Copyright(c) 2020 APRESIA Systems, Ltd.

2020 年 1 月 初版

2020 年 3 月 第 2 版

APRESIA Systems 株式会社
東京都中央区築地二丁目 3 番地 4 号
築地第一長岡ビル

<https://www.apresiasystems.co.jp/>